



認知症のかたが 安心して暮らせるまちづくり のために

問地域包括ケア室 ☎727・3548 FAX727・3539

認知症の患者数は、高齢化などにより、全国的に増加しています。箕面市でも昨年度、多くのかたが認知症と診断され、65歳以上のかたの1割以上(約4000人)が、認知症の影響で日常生活に支障が出ていることが分かりました。

認知症のかたやそのご家族が安心して暮らすためには、多くのかたが正しく認知症を理解することが大切です。特に、認知症が原因で行方不明になるかたの早期発見と安全確保のためには、地域のみなさんによる見守りが何より重要です。市内では「認知症サポーター養成講座」が随時開催されています。まちで不自然なようすの高齢者のかたを見かけたら、迷わず声をかけられるよう、ぜひご参加ください。

「認知症サポーター養成講座」に参加して、 認知症サポーターになってください!

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症のかたやその家族を温かく見守る応援者です。

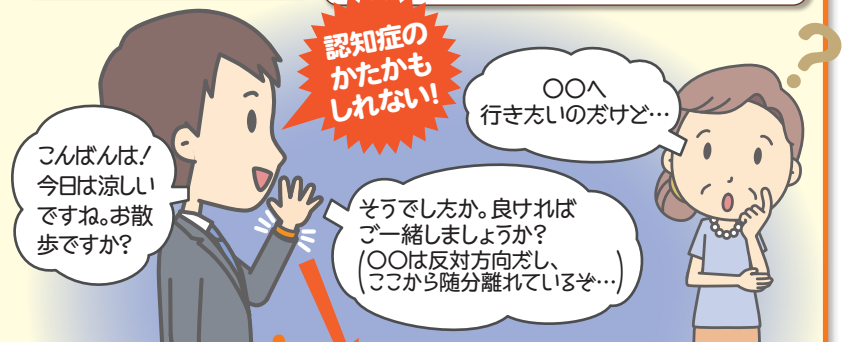
市内では、無料のサポーター養成講座が随時開催*されており、受講すれば誰でも認知症サポーターになれます。認知症のかたの特徴が分かり、声のかけ方を知っていると、まちで不自然なようすの高齢者のかたを見かけたとき、積極的に声をかけることができます。その一声が命を救うことにもつながります。ぜひご参加ください。

*今後の開催日程について、詳しくは地域包括ケア室(☎727・3548)へお電話ください。

認知症サポーターなら

まちで下記のような不自然なようすの高齢者を見かけたら…

- 深夜に1人で歩いている…
- 雨なのに傘をさしていない…
- 靴を履いていない…
- 冬に半袖(夏にコート)を着ている…



無料 出張講座を開催します!

地域の集まり(おおむね10人以上)などに講師を派遣し、講座(60~90分程度)を開催します。テキスト代を含め、全て無料です。詳しくは地域包括ケア室へお電話ください。

受講したかた全員に、サポーターの証「オレンジリング」を進呈します!

講座に参加できないかたも

認知症のかたかな?と思ったら、 ぜひ声をかけてください!

認知症のかたは自分から助けを求めるのが苦手です。まちで不自然なようすの高齢者のかたを見かけたら、次の**3つのポイント**に気を付けて、ぜひ声をかけてください。「こんにちは」「こんばんは」など、あいさつから始めると、相手の緊張がほぐれやすくなります。

声かけのポイントは3つの「ない」!

- ① **驚かせ「ない」!** 背後から急に声をかけたりせず、相手の目線に入ってから声をかけましょう。
- ② **急がせ「ない」!** 認知症のかたは急がされることが苦手です。相手の反応を見ながら、余裕を持って会話しましょう。
- ③ **自尊心を傷つけ「ない」!** 認知症だからといって何も分からないわけではありません。子どものような扱いはせず、丁寧に声をかけましょう。



声をかけて、「やっぱり不自然だな」「認知症のかたかもしれない」と思ったら、
地域包括ケア室(☎727・3548)または箕面警察署(☎724・1234)へお電話ください!

認知症のかたやそのご家族が、安心して暮らせるまちづくりのために、
ぜひご協力ください! ご不明な点があれば、地域包括ケア室(☎727・3548)へお電話ください。